

国分寺市にふるさとをつくる会

191号 平成30年2月1日発行

特定非営利活動法人

国分寺市にふるさとをつくる会

理事長 白木 昭憲

〒185-0024 東京都国分寺市泉町2-6-2-404

Tel : 090-6034-4616 Fax:042-324-2125

E-mail: shiraki @way.ocn.ne.jp

新年ご挨拶

国分寺市にふるさとをつくる会

監事 金澤誠一

あけましておめでとうございます
世間ではアメリカの大統領の資質が世間に問われている、北朝鮮の原子爆弾を爆発させる・大陸間ロケット飛ばしアメリカまでとどいた、兄を弟がサリンで殺した、難民問題で揺れるEUどれをとっても直接間接身の回りに降りかかってくる問題が山積されています。
今年こそは今年こそはと神社に行き頭を下げつづけていますがなかなか思い道理には世の中進みませんがこれが争いのない世の中かもしれませんね。
国分寺ふるさとの会に参加させていただき、十数年振りかえって教えてみたら後ろから数えたほうが早い年になりました。
今年こそは皆様方にとって充実した一年になりますように心より祈ってやみません。
私もあと何年と考えながらふるさとの会に少しでも役に立てるようなことを考えていきます。
本年もよろしくおねがいたします。

雑草に関する本との出会い

理事代行 武藤正美

今回の話は、「身近な雑草の愉快な生きかた」という稲垣栄洋作の本に出会い、さまざまな環境で力強く生きている様子を勉強させられました。今迄は庭に生えてくるとすぐ散り除いていましたが、今ではよく観察してから作業をする事になりました。
本には50種の雑草が掲載されていて名前の由来や、個々の雑草が環境が異なる所でどのように生きて来たか分かりやすく書かれた本でした。
書かれている中の一つ「スマレ」の一部を抜粋して紹介いたします。私達はスマレは山道や明るい所で生育しているイメージが強いですが、コンクリートの割れ目とか、石垣の隙間などでも見られます。これはアリが好きな「エライオソーム」と云うゼリー状の物質がスマレの種に付着していてそれをアリが巣に運び種は食べられないので外に捨てる事で意外なところでも自生しているとの事です。雑草について色々知る事ができた本でした。

大岡昇平作武蔵野夫人の恋ヶ窪

理事代行 近藤 洋

国分寺に住み始めたころ手にした「武蔵野夫人」に描かれている昭和20年代の当地の情景を興味深く読んだものです。以下に「恋ヶ窪」に関する一節をご紹介します。

線路の土手を登ると向こう側には意外に広い窪地が横たわり水田が発達していた。右側を一つの支線の土手に限られた下は萱や葦の密生した湿地で、水が大きな池を湛えて溢れ、吸い込まれるように土管に向かって動いていた。これが水源であった。

土手を斜めに切った小径を降りて二人は池の傍に立った。水田で稲の苗床をいじっていた一人の中年の百姓は、明らかな疑惑と反感を見せて二人を見た。

「ここはなんてとこですか」と勉は訊いた。

「恋ヶ窪さ」と相手はぶつきら棒に答えた。

道子の膝は力を失った。その名は前に勉から聞いたことがある。「恋」とは宛字らしかったが、伝説によればここは昔有名な鎌倉武士と傾城の伝説のあるところであり、傾城は西国に戦いに行った男を慕ってこの池に身を投じている。

「恋」こそ今まで彼女の避けていた言葉であった。しかし勉と一緒に遡った一つの川の源がその名を持っていたことは、道々彼女の感じた感情がそれであることを明らかに示しているように思われた。

「武蔵野夫人」には「はげ」や「野川」などの描写も多く、興味を覚える方は是非原作を味わってみてください。

なお、「武蔵野夫人」は恋ヶ窪図書館所蔵の「講談社現代の文学 6大岡昇平」にも納められています。

変化への兆し

監事 縄田敬二郎

「年齢を重ねるだけでは人は老いない。理想を失った時初めて老いが訪れる。」(詩、サミエル、ウルマン)

昭和の64年間、平成での30年間と続き、来年の6月には新しい年号となります。当会は設立後17年を経過し昨年6月に新しい体制となり、白木理事長のもと全員が理想を持ち、取り組んでおります。

当会の強みは、常に目標を持ち確実に実行する事と、多くの会員のご協力を戴いていることにあります。又、「X山自然林の保護」について当初から係わってきて、多くの署名、寄付等をいただき献金して参りました。今後とも協力し「憩いの森」としていきたい。

椿 さまざま

理事代行 加藤昌代

X山には、ツバキ科はヒサカキ・ヤブツバキの2種あるが、椿の花が咲いたのをあまり見たことがない。
椿は、日本、中国、朝鮮が原産国で、日本の原種は新潟地方に自生する雪椿と云われている。江戸時代に、椿の交配が盛んになり江戸椿・京椿・肥後椿など有名な椿が生まれ、中期以降になるとオランダ船でヨーロッパに渡りその美しさがブームとなり、オペラ『椿姫』（イタリア・ヴェルディ作曲）が作曲された。日本でも古来より東大寺二月堂お水取りの行事で使われ、御室椿・二月堂椿・東大寺椿などと呼ばれ、『長寿』『延年』の象徴とされている。又、法然院の椿は名木として知られ樹齢300年以上の木が3本あり、毎年見事な花を咲かせている。花の命が終わった椿が、ポトリとおちるのを惜しむ心から、当院は阿弥陀如来の前に3、4、5、6、7と放射状に25個並べ、臨終の際に西方より25体の菩薩が迎えに来る事を象徴している。ポトリと落ちるのを嫌う傾向と、いさぎよしとする考え方がある。茶道では蕾を用いる事になっている。
これから咲くために・・・

多摩に歩く会

“石神井公園の不思議を歩く”

都立石神井公園は三宝寺池と石神井池を囲む、武蔵野の面影を残す自然豊かな公園です。

沼沢植物群落、多数の「ねりまの名木」、ふるさと文化館、殿塚・姫塚、石神井城址、古くからの社寺を巡り豊かな武蔵野の自然と歴史に触れます(約6km、雨天決行)

日時：平成30年3月20日(火)

集合場所・時刻：西国分寺駅南口噴水前、9:00(スタッフは8:30)

解散：西武池袋線石神井公園駅 15:00頃

持物：飲物・昼食・雨具・敷物・返信葉書・交通費

参加費：500円

申込：3月5日までに往復葉書に住所・氏名・年齢・電話番号・返信宛先を明記し、〒185-0032 国分寺市日吉町1-9-13

前島征武へ(☎042-322-1964)



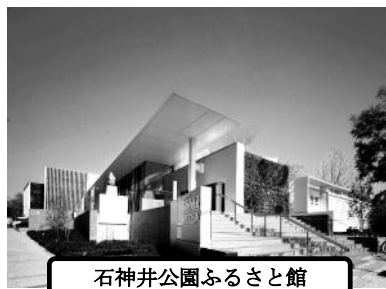
QRコード

ホームページをご覧ください。

- npo-kokubunzifurusato.jp
- 国分寺市にふるさとをつくる会



石神井公園三宝寺池



石神井公園ふるさと館

伝言板

森の自然塾のご案内

2月は18日に行います。
 集合はX山に9時20分～40分です。
 晴天の場合は屋外で野鳥観察を行います。
 雨天の場合は九小に移動します。
 (上履き持参ください)
 冬の野鳥を親子での観察、歓迎します。

☆国分寺市環境シンポジウム

テーマ：「国分寺の水辺を考える～国分寺の用水・昔と今～」

講師：小坂克信さん(産業考古学会理事・水車と臼分科会代表)

日時：平成30年2月3日(土) 午後1時30分～16時15分

定員：120名 ※無料

場所：国分寺Lホール(国分寺駅ビル8階)

主催：国分寺市環境ひろば・国分寺市

問い合わせ先：国分寺市まちづくり部まちづくり計画課

042-325-0111、042-328-2192

※プログラムの途中で、環境団体活動紹介

- NPO法人国分寺市にふるさとをつくる会
- ミズモリ団
- 緑と自然を育てる会

☆国分寺の自然についての講話

テーマ：国分寺の武蔵野の里山保全活動

講師：白木 昭憲(国分寺姿見の池緑の会 広報担当役員)

日時：平成30年2月12日(月・振休)午前10時～11時30分

定員：35名※無料

場所：国分寺市立本多公民館(国分寺市本多1-7-1)

主催：東経自然に親しむ会「国分寺の武蔵野の里山保全活動」

申込：電話で石原様宛 080-5412-1486

2月行事予定

- 2月 3日(土) 国分寺市環境シンポジウム
 - 13:30 国分寺Lホール
- 4日(日) 姿見の池ホテルの会作業
 - 9:30 姿見の池
- 10日(土) ふるさとの会 合同幹部会議
 - 13:00 恋ヶ窪公民館
- 10日(土) 野川源流自然再生準備会
 - 15:10 恋ヶ窪公民館
- 12日(月・振休) 里山保全活動講話
 - 10:30 本多公民館
- 14日(水) 森の教室運営委員会
 - 9:30 恋ヶ窪公民館
- 17日(土) 日吉町町内会定例会
 - 13:30 第五小学校ランチルーム
- 18日(日) 森の自然塾
 - 8:30 X山中央
- 18日(日) 環境ひろば
 - 10:00 国分寺市役所会議室
- 18日(日) 防災推進の街づくり仲間の会
 - 14:00 第九小学校図書室
- 25日(日) 姿見の池ホテルの会作業
 - 9:30 姿見の池
- 25日(日) 姿見の池ホテルの会会議
 - 14:00 都営住宅集会所
- 28日(水) 会報配布準備
 - 13:30 恋ヶ窪公民館 (印刷は13:00～)
 - (注) 終了次第広報委員会
- 28日(水) 多摩に歩く会会議
 - 15:00 恋ヶ窪公民館

信州の自然を取入れています

建築コンサル

(ふるさとの会会員無料相談)

賛助会員 文京区向丘1-5-7

(株)大気一級建築士事務所

電話 03-3812-6236

FAX 03-3812-6623

知事登録

般一24第118003号

一般建築お引受

田中工務店

八王子市美山町1847-1

電話 042 (651) 1285

FAX 同

エックスやま

本社はX山に位置します

自然環境保護に賛同

賛助会員 TEL 042-321-5441

国分寺市日吉町4丁目13番2

中央システム技研(株)

代表取締役 川野 誠

(長野県下伊那郡出身)